

12 とおの 遠野

(岩手県遠野市)

注目ポイント！

民話のふるさととして、景観に配慮したまちづくり、南部曲り家(古民家)の保存。遠野物語の語り部の育成・伝統の承継。
グリーンツーリズムを推進・炭焼きや乗馬育成の体験を提供。

➡ 観光客数が約140万人(H13)から約160万人(H16)に！
地域の人々の参加、まちの活力につながる！



遠野ふるさと村

コラム

観光協会長として民話のふるさとをプロデュース、民話を活用しつつ継承を図る。観光客の新たなニーズに応えるべく、いち早くグリーンツーリズムに取り組む。遠野の伝統や特産品の魅力として食文化を提案。遠野の観光とまちづくりの舵取り役である。



遠野市観光協会
会長 多田 良城氏

これまでの経緯

- 昭和59年(1984) 伝承園を開園。昭和61年とおの昔話村オープン。(語り部の実演)
- 昭和62年(1987) 「柳田國男ゆかりサミット」を開催。地元における研究活動の契機となる。
- 平成6年(1994) 民俗学研究の情報発信と地域活性化をめざし「遠野物語ゼミナール」を毎年開催する。
- 平成7年(1995) 東北地区グリーンツーリズム・フィールドスタッフ・ミーティングを開催する。
- 平成8年(1996) NPO法人遠野物語研究所を設立する。(民族学等の研究と交流)
遠野ふるさと村が開村する。(グリーンツーリズム実践の施設)
- 平成13年(2001) 新総合計画(遠野未来デザイン)策定。個性豊かで活力と潤いに満ちた地域づくり。
- 平成15年(2003) 「日本のふるさと再生特区」認定。どぶろくのほか、農家宿泊や農業経営に関する特例を盛り込む。

主な取り組み

「民話のふるさと遠野」

現存する千葉家の他、伝承園とふるさと村では南部曲り家を移築・保存するとともに、民話のふるさととしてまちの景観に配慮した町並みづくりに取り組む。昔話村の語り部ホールでは、物語を実演。語り部教室での語り部育成や、語り部のボランティア活動等を実施。



活発なグリーンツーリズム活動

「西の安心院(大分)、東の遠野」といわれるほどグリーンツーリズム活動が活発。農家グループによる炭焼きや郷土芸能のしし踊り体験、ふるさと村での体験メニューや馬産地の伝統をくむ乗馬・厩務員体験、リンゴ収穫体験などを実施。道の駅「遠野風の丘」ではグリーンツーリズム情報を提供。

特産品開発と地域の活性化

遠野市周辺ではホップの生産が盛んであり、地ビールや大手化粧品会社と協力し香水の開発に結びつける。新しい特産品の開発は、観光客に好評であることに加え、農業や製造業のやる気を醸成。



特区制度の活用と交流促進

「どぶろく」特区として有名。農家での宿泊や農業経営に関する特例もある。都市部の学生との連携等、グリーンツーリズムを通じた都市農村交流に取り組む。



問い合わせ先

遠野市ふるさと交流課

Tel : 0198 - 62 - 2111(代表) <http://www.city.tono.iwate.jp>

遠野市観光協会

Tel : 0198 - 62 - 1333

<http://www.tonotv.com/members/kankoukyoukai>